



みなさん、こんにちは。「静岡大学ゆかりの会」事務局です！

2015年からスタートした、“Asia Bridge Program”（通称：A B P）が今年10周年を迎えます。このプログラムは、国際展開を進める静岡県企業及び自治体と連携し、「理工系の専門性に経営学的思考、文系の専門性に理工学的思考をあわせ持ち、広い視野のもとでアジアを中心とする海外で活躍する人材」の育成を目的としています。

静岡大学は、アジアの国々から留学生を受け入れ、この10年間で約430名もの卒業・修了生を輩出してきました。今後も静岡とアジアの架け橋として活躍が期待される人材を輩出するこのプログラムの卒業生に、A B Pでの思い出や、このプログラムの魅力などのインタビューをお届けします（次回配信とあわせ、前編・後編で特集します）。

取材したのは、2018年にA B Pの入試を受験し、工学部機械工学科に入学、2022年に静岡大学を卒業、現在は静岡県湖西市にある株式会社ユニバンスで働いているイプトゥ アデリアン ワルテリカさんです。A B Pに応募した経緯や、なぜ日本に留学したかったのか、現在のお仕事のやりがいやさらに今後の夢まで、たくさんお聞きしました！



——静岡大学のA B Pに入学しようと思った理由を教えてください。

(アデさん) もともと、日本の文化、仮面ライダーやウルトラマンなどが好きで、日本へ留学することが夢だったのですが、高校在学中には良い条件の留学先が見つかりませんでした。高校卒業後にインドネシアの大学に通っていた時に、今の勤務先であるユニバンスが、静岡大学への留学を支援する制度を始めたという情報を、卒業した高校の先生から聞きました。静岡大学のA B Pは、検定料・入学料・授業料が免除※1されるといのがとても魅力的でした。すでに大学には通っていたのですが、奨学金などがある日本でのプログラムを高校の時からずっと探していましたし、このチャンスは逃したくないと、通っていた大学を辞めて、挑戦することに決めましたね。

※1：A B Pでは、検定料、入学料、1年目の授業料は不徴収でお金がかかりません。2～4年目の授業料も条件を満たすことによって、不徴収となります。

——留学することができて、憧れの日本はどうでしたか。日本の文化も楽しめましたか。

(アデさん) はい。仮面ライダーの石像を見に行くことができました。(笑)  
ほかにも、国際交流イベントに参加して、様々な国籍の留学生や日本人と交流したり、静岡県内のいろんな所に行くこともできました。



——それはよかったです！(笑) 国際交流イベントもとても面白そうですね。ぜひ詳しく教えてください。

(アデさん) 国際連携推進機構の袴田先生が中心になって進めてくださっている「話っ！輪っ！和っ！」<sup>\*2</sup>というイベントでした。1泊2日で、とあるテーマを題材にして、中国、韓国、ベトナム、タイ、インド、そして日本と、静岡県内のいろいろな国籍の留学生と、それぞれの考え方を語り合うことができました。その時は「チャレンジングな状況であなたは どうしますか」といったテーマでした。ある日本人は「こういう状況がチャレンジングな場面だ」と言っていたのですが、別の国籍の方は「それはチャレンジングな場面だとは思わない」と言っていて、国籍によっても考え方が違うことが分かり、留学生同士深く交流し、価値観を知ることができて、自分の視野が広がりました。

その実行委員にも挑戦したので、実行委員の学生達で月1回ぐらい、静岡県内のいろんな場所で会ったりしました。次の「話っ！輪っ！和っ！」でどんなことをするかを皆で計画した

り、合宿をしたりして、とても楽しかったです。静岡大学だけでなく、他の大学の留学生とも知り合うことができ、浜松から三島まで、観光をしながら交流できたのは良い機会になりました。

※2：「話っ！輪っ！和っ！」とは、静岡県留学生等交流推進協議会が主催しているイベント。留学生を中心とした学生が、静岡県内で学んで、「話して」「仲間になって(輪)」「和む」ことを目的に、様々な角度からテーマについて話し合う機会を提供している。

——そうだったんですね。日本で、様々な国籍の留学生の、多様な意見を知ることができて、とても良い機会になったんですね。充実した学生生活が目に見えます。



在学中は附属図書館浜松分館横の芝生に座って、よくリフレッシュしていたそうです

次回の配信（9月予定）で、卒業後のアデさんの様子を紹介します。

（撮影）松本晃輔・静岡大学総務部広報・基金課

（取材）大澤明梨・同上

////////////////////////////////////

<イプトゥ アデリアン ワルテリカさん>

株式会社ユニバンス 商品開発部 商品設計グループ。インドネシア、バリ島出身。2018年静岡大学のABPで工学部機械工学科に入学し、2022年卒業。奥様は現在静岡大学ABPの修士課程に在籍しており、夫婦で静岡大学とご縁がある。昨年11月に男の子が生まれ、現在8か月。2人で育児を楽しんでいる。



アジアブリッジプログラム(ABP)は、2024年度までに430名以上の学位を取得した留学生を輩出しました。ABP10周年記念事業は、卒業した留学生、在校生、産学官関係者のコミュニティ形成を目的としています。知識と人材の循環を高め、企業の海外展開や、地域の多文化共生社会における留学生人材のさらなる活躍を促進し、ABPの地域社会へのインパクトの向上に努めます。

ABP10周年記念事業として、2025(R7)年度、様々なイベントを展開します。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。



静岡大学未来創成基金では、国際交流に関する寄附を受け付けております。国際交流事業への支援を目的にご寄附いただく場合には、「A1 大学運営全般」を選択いただき、お申込みください。

— リンク一覧 —



◇お問い合わせ

静岡大学 広報・基金課 基金係

TEL:054-238-5183

Email:yukarinokai@adb.shizuoka.ac.jp

※本メールマガジンを無断転載することは禁止されております。

※メールマガジン ニュース・イベント投稿フォームは [こちら](#)から

※メールマガジンの配信停止（ゆかりの会の退会）は [こちら](#)から